

第70期報告書  
フクダ電子株式会社  
**2017.03**

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで



医療と健康をつなぐ  
テクノロジー



**FUKUDA  
DENSHI**

<http://www.fukuda.co.jp/>

証券コード：6960



代表取締役会長  
福田 孝太郎

代表取締役社長  
白井 大治郎

目次

|          |   |        |     |
|----------|---|--------|-----|
| トップメッセージ | 1 | 新製品紹介  | 9   |
| 中期経営計画   | 4 | 連結財務諸表 | 11  |
| 事業紹介     | 5 | 会社の概況  | 13  |
| 特集       | 7 | 株主メモ   | 裏表紙 |

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第70期（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）のフクダグループの業績及び決算などの内容についてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続きフクダグループへのご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成29年6月

経営理念

社会的使命に徹し、  
ME機器の開発を通じて、  
医学の進歩に寄与する

Q 当期の業績についてご説明ください。

当連結会計年度におけるわが国経済は、緩やかな回復基調であるものの、海外経済における不確実性の高まりや為替の変動、景気の下振れによる影響が懸念されるなど不透明な状況で推移し、先行きへの不安も依然残っております。

医療機器業界においては、平成28年度診療報酬は全体としてマイナス改定となり、医療機関には引き続き効果的・効率的で質の高い医療の提供が求められております。

このような環境の中、当連結会計年度の売上高は1,217億47百万円（前期比3.9%増）となりました。利益につきましては、営業利益は120億62百万円（前期比13.3%増）、経常利益は122億1百万円（前期比11.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は87億76百万円（前期比19.1%増）となりました。

なお、当連結会計年度の実績には連結子会社化したフクダコーリン(株)（旧 オムロンコーリン(株)）の第4四半期連結会計期間の業績が合算されております。

Q 来期の見通しについて教えてください。

今後のわが国経済の見通しにつきましては、緩やかな回復傾向が続くと見込んでおります。

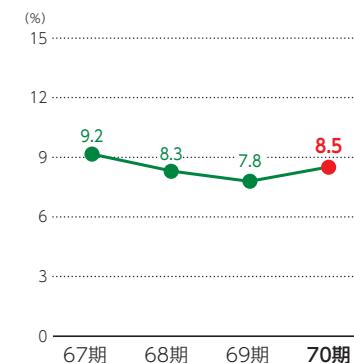
当社グループは、経営理念に則り、医学の進歩に寄与すべく、一層の社会的使命感を持って医療への貢献に向け弛まぬ努力を続けてまいります。

来期の見通しにつきましては、売上高1,250億円、営業利益125億円、経常利益125億円、親会社株主に帰属する当期純利益80億円を見込んでおります。

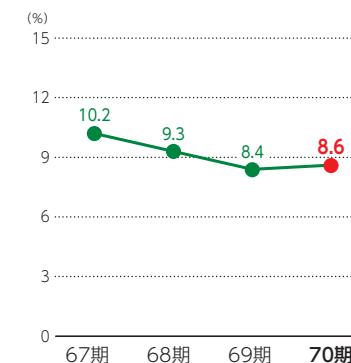
なお、現時点で予測しうる見通しであり、変更が生じた場合には速やかに開示いたします。

収益性指標

ROE (自己資本当期純利益率)



ROA (総資産経常利益率)



安全性指標

自己資本/総資産/自己資本比率



Q 株主様への利益還元についてご説明ください。

1株当たりの配当金  
**160円**

期末配当金：100円  
 (普通配当：45円  
 特別配当：50円  
 記念配当：5円)  
 中間配当金：60円

当社は株主の皆様への利益還元を経営の重要施策として位置付けております。持続的成長のための利益の再投資を行いながら必要な内部留保をもちつつ、安定的かつ継続的な利益配分を実施していくことを基本方針としており、連結配当性向30%を目標としております。

当期の期末配当金につきましては、通期の連結業績が期初に予想した数値を上回ったことから、普通配当を5円増配した45円に、特別配当を50円、さらに過去最高益達成記念配当として5円を加え、合計100円とさせていただきます。これにより、年間の配当金は、中間配当金60円と併せて160円となります。

来期の配当につきましては、業績などを勘案

し、年間配当金155円（中間配当金65円、期末配当金90円）を予定しております。

Q オムロンヘルスケアとの事業提携の背景について教えてください。

今回のオムロン コーリン（現フクダコーリン）の株式取得により当社は、オムロン コーリンの持つ生体情報モニタや検診機器をはじめとする製品ラインアップを獲得することができ、これまで以上に付加価値の高い院内システムの提供が可能になります。また、事業提携により当社の持つ在宅酸素療法やCPAPなどの在宅医療サービスとオムロンヘルスケアの有する優れた血圧測定技術とそれを小型化する技術によって開発するウェアラブル医療機器などを組み合わせることで新たな在宅医療事業の創出が可能になります。さらに、中国やアジアをはじめオムロンヘルスケアの持つ海外の販売網をフクダ電子が活用することで、自社製品の海外展開を拡大することが可能になります。

中期経営計画方針

少子高齢化の進展に伴い変化する医療環境に適応すべく事業戦略を策定し、効率的な組織運営を実現することで強固な経営基盤を構築していくことを掲げております。

成長性が見込まれる分野への戦略的投資や効果的な研究開発の取り組みにより、医療機関への総合提案の実現、在宅医療分野における地域密着体制の強化を図り、ガバナンス・コンプライアンス体制の強化や人材育成による組織の活性化を通じて、グループ経営管理体制の充実を目指してまいります。

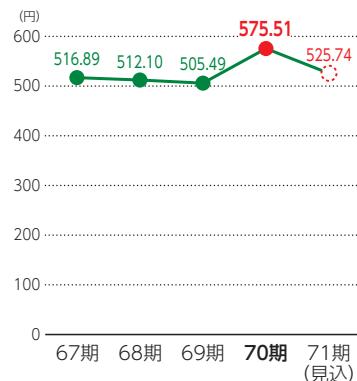
地域医療を支えるという使命感のもと、「予防・検査～治療～経過観察・リハビリ～在宅」というワンストップサービスによる一貫した医療環境を

提供することで、お客様に価値を提供するとともに経営環境の変化に左右されない持続的成長を実現してまいります。

このような状況において、平成32年3月期の定量目標として、売上高1,290億円、営業利益129億円を掲げております。資本効率を高めるべく創出したキャッシュ・フローを継続的に成長投資に回していくことで企業価値向上に努め、株主の皆様へ安定的な成果配分を継続していく所存でございます。

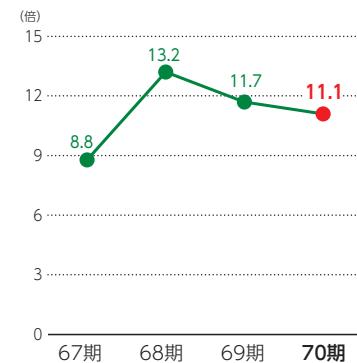
1株当たりの指標

EPS (1株当たり当期純利益)



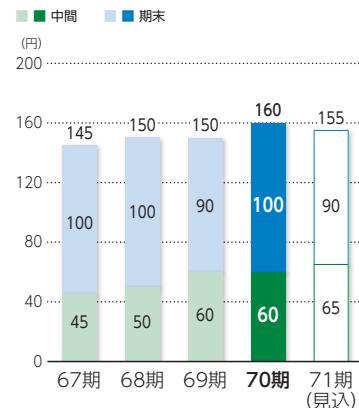
株価指標

PER (株価収益率)



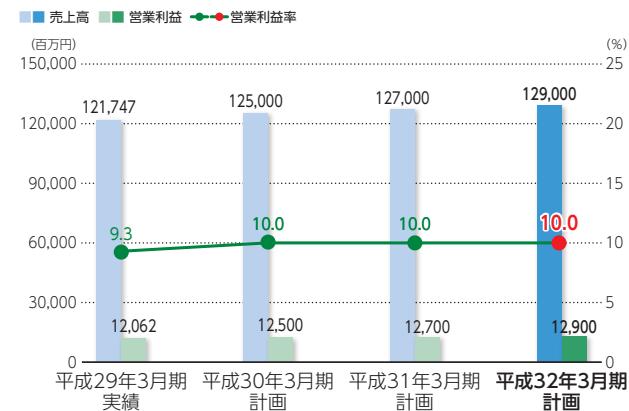
株主還元

配当金



平成32年3月期 / 中期業績目標

売上高1,290億円 / 営業利益129億円



対処すべき課題

国内においては、診療報酬、薬価、特定保険医療材料の公定償還価格改定に加え、DPC（入院医療費の包括支払い）の拡大などが進められております。

引き続き厳しい市場環境が予測されますが、お客様に安心してご使用いただくための品質管理・安全管理体制の充実と、同業他社には無い差別化した製品の開発、販売体制整備のための投資、国内外の競合メーカーとの価格競争力を高めるためのコスト削減に引き続き取り組んでまいります。

部門別概況 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

生体検査装置部門

売上高構成比 **30.3 %**

売上高 **36,881** 百万円 (前期比 **0.6 %増**)



血圧脈波検査装置



心電計



[事業内容]

心電図、心音図、脈波、血圧、呼吸、臓器の動きなどの生体機能を示す物理現象を電気信号に変換し、測定記録する心電計、心音計、ポリグラフ、超音波画像診断装置などの製造・購買及び販売

[ポイント]

当期の自動血球計数測定装置等の売上は減少しましたが、フクダコーリン(株)が連結に加わったこと等により売上高は368億81百万円(前期比0.6%増)となりました。

売上高構成比 **39.5 %**

治療装置部門

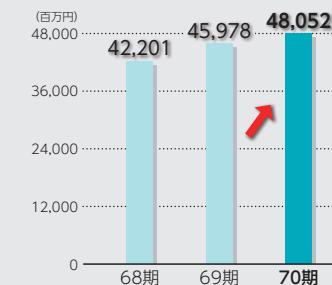
売上高 **48,052** 百万円 (前期比 **4.5 %増**)



人工呼吸器



PTCAカテーテル



[事業内容]

心臓に電気的な刺激を与え、心停止の蘇生や調律異常を治療する除細動器、ペースメーカ、呼吸不全などの患者様の呼吸運動を補助する人工呼吸器、心臓や血管の治療に用いられるカテーテルなどの製造・購買及び販売

[ポイント]

当期のペースメーカ、人工呼吸器、在宅医療向けレンタル事業の売上は伸張し、売上高は480億52百万円(前期比4.5%増)となりました。

生体情報モニター部門

売上高構成比 **7.5 %**

売上高 **9,085** 百万円 (前期比 **0.8 %増**)



セントラルモニタ



ベッドサイドモニタ



[事業内容]

手術後の重症患者様、急性心疾患の患者様などについて、生体の諸機能を長時間にわたって監視する心電図モニタ、多種組合せの生体情報モニタなどの製造・購買及び販売

[ポイント]

当期のモニタの売上高は90億85百万円(前期比0.8%増)となりました。

売上高構成比 **22.8 %**

消耗品等部門

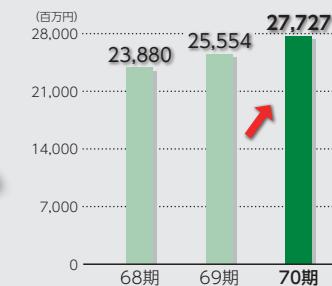
売上高 **27,727** 百万円 (前期比 **8.5 %増**)



ディスポーザブル電極



記録紙



[事業内容]

医用電子機器に用いる記録紙、電極、付属品及び部品の製造・購買及び販売

[ポイント]

当期の消耗品等部門の売上高は277億27百万円(前期比8.5%増)となりました。  
消耗品等部門は、記録紙、ディスポーザブル電極や各部門の器械装置に使用する消耗品や修理、保守を含みます。

第70期 売上高 **121,747** 百万円 (前期比 **3.9 %増**)

フクダグループはよりよい製品と地域に密着したサービス網の充実に努めております。

フクダグループへ新たにフクダコーリンが加わり、  
全国**224**カ所の営業拠点となりました。  
医療機器業界最多規模の国内拠点数で、  
より安心・安全な医療サービスを提供してまいります。

全国  
**224**カ所  
の営業拠点  
※2017年6月29日現在



フクダ電子  
全国  
**201**カ所



フクダコーリン  
全国  
**23**カ所



パッチ型のホルタ記録器



睡眠評価装置



自動血圧計



心電図検査装置



血圧脈波検査装置



ベッドサイドモニタ



セントラルモニタ



汎用人工呼吸器



麻酔システム

心電図検査装置 解析付

FCP-8700



医療機器認証番号:228ADBZX00116000  
販売名:カーディマックス FCP-8700  
管理医療機器 特定保守管理医療機器

主な特長

- ノイズの少ない波形を解析するオートキャプチャ機能
- 合成18誘導心電図を用いたACS診断補助機能
- 心臓突然死に関連したBrugada型心電図、J波解析に対応

パッチ型のホルタ記録器\*

eMEMO WR-100



医療機器認証番号:228ADBZX00113000  
販売名:ホルタ記録器 eMEMO WR-100  
管理医療機器 特定保守管理医療機器

主な特長

- 14日間連続記録が可能\*
- パッチ型の電極\*
- 防水性能 IPX6/8対応
- 小型、軽量25g(電池含む)

\*1ch時

ベッドサイドモニタ

DS-8005



医療機器認証番号:229ADBZX00006000  
販売名:ダイナスコープ8000シリーズ DS-8005システム  
高度管理医療機器 特定保守管理医療機器

主な特長

- 心電図、呼吸、SpO<sub>2</sub>、非観血血圧が測定可能
- 波形も数値もくっきり見やすいワイドカラー液晶を搭載
- テレメータ送信モジュール記録器を標準搭載
- 最大10日間の連続波形メモリが可能\*

\*長時間波形記録カード使用時

電子式診断用スパイロメータ

スパイロシフト SP-790COPD

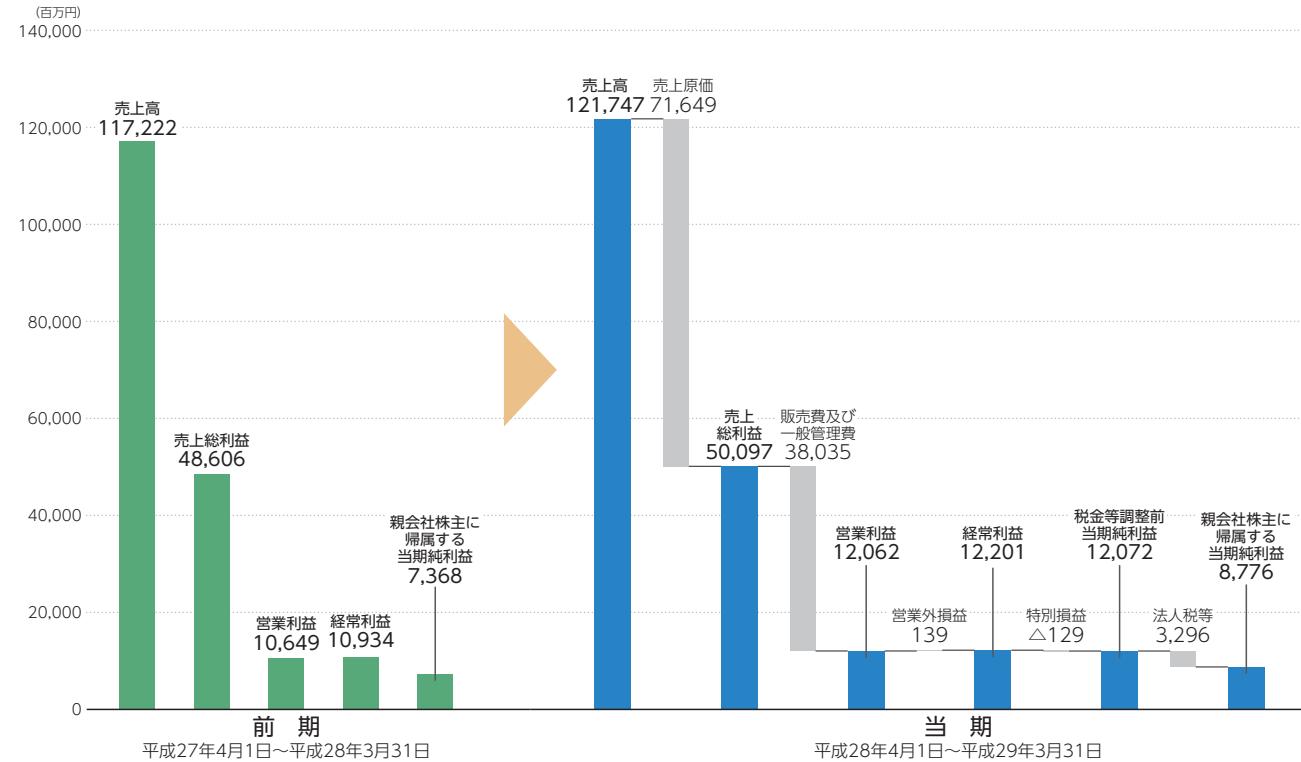


医療機器認証番号:228ADBZX00096000  
販売名:スパイロシフト SP-790COPD  
管理医療機器 特定保守管理医療機器

主な特長

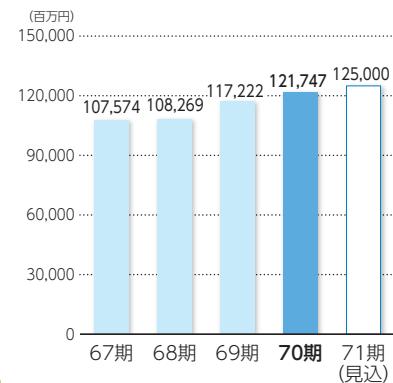
- グラフやアニメーション表示で、手順をやさしくガイダンス
- FVC測定を連続して行なえる健診モードを搭載
- 結果を日本呼吸器学会ガイドラインに沿って判定可能
- 動的肺過膨張を定量化できる検査モードを初搭載

### 連結損益計算書の概要



### 連結財務ハイライト

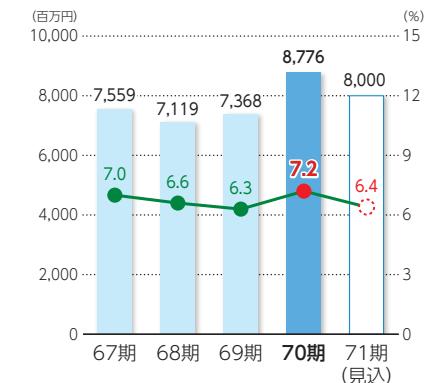
#### 売上高



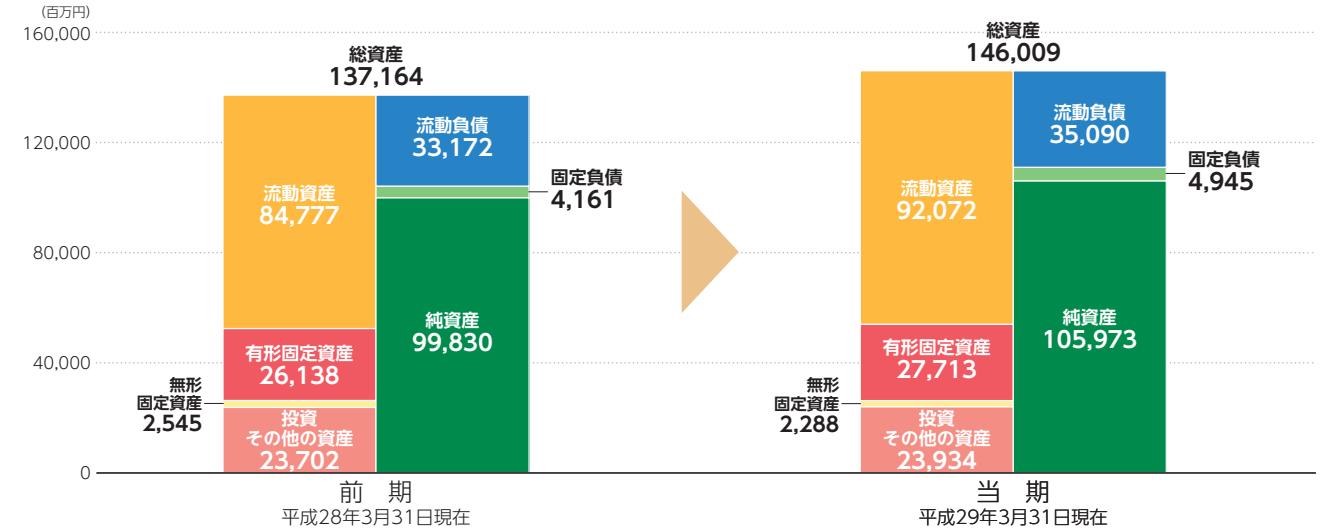
#### 経常利益/経常利益率



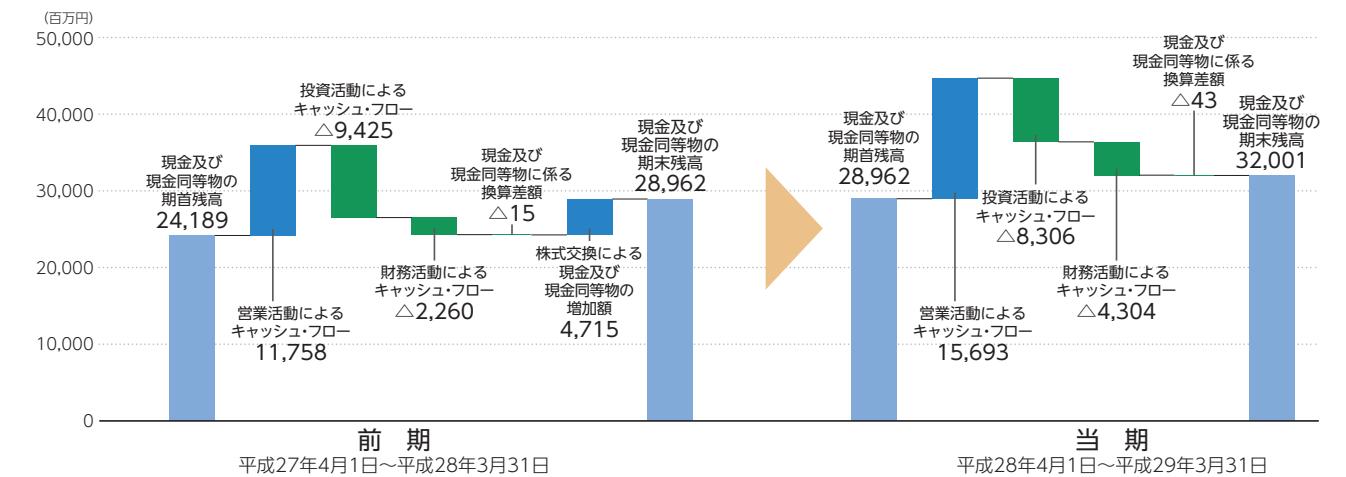
#### 親会社株主に帰属する当期純利益/親会社株主に帰属する当期純利益率



### 連結貸借対照表の概要



### 連結キャッシュ・フローの概要



詳細な財務情報は当社ホームページ「株主・投資家向け情報」に掲載している決算短信をご利用ください。

<http://www.fukuda.co.jp/ir/>

## フクダグループ

地域密着型の全国ネットワークで、よりよい製品とサービスの提供に努めております。

### ◎フクダ電子販売

本社 23社  
営業所 53  
出張所 4

### ◎フクダライフテック

本社 17社  
営業所 72  
出張所 32

### ◎フクダコーリン

本社 1社  
支店 20  
出張所 2

全国 224 拠点

#### 北海道・東北地区

フクダ電子北海道販売株式会社  
フクダ電子北東北販売株式会社  
フクダ電子南東北販売株式会社  
フクダライフテック北海道株式会社  
フクダライフテック北東北株式会社  
フクダライフテック南東北株式会社

#### 北陸・中部・東海地区

フクダ電子新潟販売株式会社  
フクダ電子北陸販売株式会社  
フクダ電子長野販売株式会社  
フクダ電子中部販売株式会社  
フクダ電子三岐販売株式会社  
フクダライフテック北信越株式会社  
フクダライフテック中部株式会社

#### その他グループ

フクダライフテック株式会社  
フクダ電子ファインテック仙台株式会社  
株式会社フクダ物流センター  
フクダ電子技術サービス株式会社  
フクダメディカルソリューション株式会社  
アトミック産業株式会社  
フクダコーリン株式会社  
プレステクノロジー株式会社  
北京福田電子医療仪器有限公司  
FUKUDA DENSHI USA, Inc.  
FUKUDA DENSHI Switzerland AG

#### 関東地区

フクダ電子北関東販売株式会社  
フクダ電子西関東販売株式会社  
フクダ電子南関東販売株式会社  
フクダ電子東京販売株式会社  
フクダ電子東京中央販売株式会社  
フクダ電子東京西販売株式会社  
フクダ電子神奈川販売株式会社  
フクダライフテック関東株式会社  
フクダライフテック常葉株式会社  
フクダライフテック東京株式会社  
フクダライフテック東京西株式会社  
フクダライフテック横浜株式会社

#### 近畿地区

フクダ電子京滋販売株式会社  
フクダ電子近畿販売株式会社  
フクダ電子兵庫販売株式会社  
フクダライフテック京滋株式会社  
フクダライフテック関西株式会社  
フクダライフテック南近畿株式会社  
フクダライフテック兵庫株式会社

#### 中国・四国地区

フクダ電子岡山販売株式会社  
フクダ電子広島販売株式会社  
フクダ電子四国販売株式会社  
フクダライフテック中国株式会社  
フクダライフテック四国株式会社

#### 九州・沖縄地区

フクダ電子西部北販売株式会社  
フクダ電子西部南販売株式会社  
フクダライフテック九州株式会社

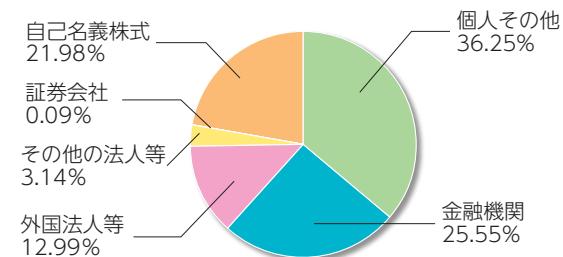
## 会社の概況

商号 フクダ電子株式会社  
設立 昭和23年7月6日  
資本金 46億2,160万円  
事業内容 医用電子機器の開発・製造・販売及び輸出入  
本店所在地 〒113-8483  
東京都文京区本郷三丁目39番4号  
主な取引銀行 株式会社東京都市銀行  
株式会社三菱東京UFJ銀行  
株式会社みずほ銀行  
株式会社北陸銀行  
株式会社七十七銀行  
株式会社商工組合中央金庫  
みずほ信託銀行株式会社

## 株式の状況

発行可能株式総数…………… 78,000,000株  
発行済株式の総数…………… 19,588,000株  
株主数…………… 2,815名

## 所有者別分布状況 (%は持株比率)



## 取締役及び監査役 (平成29年6月29日現在)

代表取締役会長 福田 孝太郎  
代表取締役社長 白井 大治郎  
取締役 白川 修  
取締役 福田 修一  
社外取締役 杉山 昌明  
常勤監査役 藤原 潤三  
監査役 鈴木 勇  
社外監査役 岡野 照久  
社外監査役 後藤 啓二

## 大株主

| 株主名  | 持株数 (千株) | 持株比率 (%) |
|--|----------|----------|
| 福田 孝太郎   | 3,470    | 22.71    |
| 日本生命保険相互会社   | 752      | 4.93     |
| みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 東京都市銀行口<br>再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社      | 695      | 4.55     |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行  | 677      | 4.44     |
| 福田 礼子  | 644      | 4.22     |
| 株式会社みずほ銀行  | 639      | 4.18     |
| 株式会社北陸銀行   | 500      | 3.27     |
| ピービーエイチ フィデリティ ピューリタン フィデリティ シリーズ<br>イントリシック オポチュニティズ ファンド | 450      | 2.94     |
| ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505224                       | 402      | 2.63     |
| 福田 百合子   | 367      | 2.40     |

(注) 1 当社は自己株式を4,305千株保有しておりますが、上記大株主からは除いております。  
(注) 2 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## ◆株主メモ

|                     |   |
|---------------------|---|
| 事業年度                | 毎年4月1日から翌年3月31日まで   |
| 定時株主総会              | 毎年6月開催  |
| 基準日                 | 定時株主総会 毎年3月31日<br>期末配当 毎年3月31日<br>中間配当 毎年9月30日<br>そのほか取締役会の決議で定めた日                          |
| 株主名簿管理人             | 東京都中央区八重洲一丁目2番1号<br>みずほ信託銀行株式会社   |
| 事務取扱場所              | 東京都中央区八重洲一丁目2番1号<br>みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部   |
| 郵便物送付/<br>電話お問い合わせ先 | 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>みずほ信託銀行株式会社 証券代行部<br>TEL.0120-288-324 (フリーダイヤル)                |
| 公告方法                | 当社ホームページに掲載する。(電子公告)<br>< <a href="http://www.fukuda.co.jp/">http://www.fukuda.co.jp/</a> > |
| 上場証券取引所             | 東京証券取引所 (JASDAQ市場)  |

## ◆株式事務に関するご案内

### ●証券会社でお取引をされている株主様

|                 |   |
|-----------------|---|
| お手続き<br>お問い合わせ先 | お取引のある証券会社                                  |
| お手続き内容          | 住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取り方法のご指定、相続に伴うお手続き等 |

### ●特別口座に記録されている株主様

|                      |  |
|----------------------|--|
| 特別口座管理機関             | 三井住友信託銀行株式会社   |
| 各種お問い合わせ<br>及び郵便物送付先 | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>三井住友信託銀行株式会社 証券代行部<br>TEL.0120-782-031 (フリーダイヤル)                                  |
| お手続き内容               | 住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取り方法のご指定、相続に伴うお手続き等  |
| 特別口座での<br>留意事項       | ①特別口座では、株式の売却はできません。売却するには、証券会社にお取引の口座を開設し株式の振替手続きを行う必要がございます。<br>②株券電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。 |

※未払配当金の支払い、支払明細等の発行に関するお手続きはみずほ信託銀行にお問い合わせください。  
なお、未払配当金のお支払いは、みずほ銀行本店及び全国各支店でもお取扱いいたします。

|                 |  |
|-----------------|--|
| お手続き<br>お問い合わせ先 | 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>みずほ信託銀行株式会社 証券代行部<br>TEL.0120-288-324 (フリーダイヤル) |
|-----------------|--|

**フクダ電子株式会社**

東京都文京区本郷3-39-4 TEL.(03)3815-2121(代)

医療機器のフクダ電子 |

検索

UD FONT

